

関東東山病害虫研究会 第60回 研究発表会・総会プログラム

日時:2013年3月1日(金)10:00~16:30

場所:千葉県千葉市 千葉市文化センター

受付:アートホール(3階)ロビー 9:30から

虫害会場(アートホール) 一般講演12分(1 鈴8分, 2鈴10分, 3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:00	虫1	フェロモン剤はどの程度の距離からアカスジカスミカメを誘引するのか? ○安田哲也、安田美香(中央農業総合研究センター)	石崎摩美 (中央農業総合研究センター)
10:12	虫2	放牧草地管理方法による斑点米カメムシ発生リスクの評価 ○安田美香、安田哲也(中央農業総合研究センター)	
10:24	虫3	茨城県における一等米生産のためのクモヘリカメムシの防除判断基準 ○寺田充芳、杉山恵乃、横須賀知之(茨城県農業総合センター農業研究所)	
10:36	虫4	ツヤアオカメムシの寄主植物はスギ、ヒノキ以外に存在するか?(1)アメリカハナミズキの場合 ○本田知大、糸山享1(明治大学大学院農学研究科、明治大学農学部)	
10:48	虫5	栃木県の園芸作物に発生したナミハダニおよびタバココナジラミの薬剤感受性検定 ○春山直人、松本華苗(栃木県農業環境指導センター)	守屋成一 (中央農業総合研究センター)
11:00	虫6	茨城県で発生しているネギアザミウマにおける合成ピレスロイド剤抵抗性遺伝子の頻度 ○横山朋也、鹿島哲郎(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
11:12	虫7	茨城県におけるヒラズハナアザミウマの薬剤感受性 ○吉田早苗、大橋俊子、諏訪順子1、椎葉岳彦、富田恭範(茨城県病害虫防除所、1 鹿行農林事務所)	
11:24	虫8	茨城県におけるオオタバコガの薬剤感受性 ○藤本義子、渡辺正幸、富田恭範(茨城県病害虫防除所)	
11:36	虫9	ナメグリバエを主対象としたレタス害虫の体系防除 ○小木曾秀紀、清沢靖仁1、栗原潤2、袖山栄次(長野県野菜花き試験場佐久支場、1 長野県野菜花き試験場、2 長野県南信農業試験場)	河名利幸 (千葉県農林総合研究センター)
11:48	虫10	簡易ELISA法による簡便・迅速なイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定法 ○柴草也、一木珠樹1、大藤泰雄、早野由里子(中央農業総合研究センター、1 農業生物資源研究所)	
12:00	昼食・休憩		
13:00	総会		
13:35	特別講演 現場における病害虫診断の実態とそこからみえる課題、将来展望について 上遠野富士夫(法政大学生命科学部)		日本典秀 (中央農業総合研究センター)
14:25	休憩		
14:35	虫11	ネギ栽培における赤ネットを用いたネギアザミウマ防除 ○大矢武志、植草秀敏(神奈川県農業技術センター)	大井田寛 (千葉県農林総合研究センター)
14:47	虫12	施設キュウリでの赤色防虫ネットを用いたミナミキイロアザミウマおよびタバココナジラミの侵入抑制効果 ○桑原克也、高橋まさみ、蓼沼優1(群馬県農業技術センター、1 桐生地区農業指導センター)	
14:59	虫13	露地ナス栽培においてウリ科植物はヒメハナカメムシ類のコンパニオンプランツになり得るか ○川田祐輔、大矢武志、糸山享1(神奈川県農業技術センター、1 明治大学農学部)	
15:11	虫14	新たに開場した明治大学黒川農場におけるヒメハナカメムシ類の発生推移と種構成 ○村尾啓斗、佐倉朗夫1、糸山享(明治大学農学部、1 明治大学黒川農場)	大矢武志 (神奈川県農業技術センター)
15:23	虫15	スワルスキーカブリダニは糸状菌を摂食するか?—実験装置を用いた検討— ○山崎大樹、糸山享(明治大学農学部)	
15:35	虫16	DNAによるカブリダニ種識別法と、それを利用した種構成調査 ○日本典秀、佐藤幸恵、屋良佳緒利、下田武志、長坂幸吉、後藤千枝、守屋成一(中央農業総合研究センター)	
15:47	虫17	葉菜類の有機栽培施設における害虫の発生と対応策 ○長坂幸吉、日本典秀、奥圭子、佐藤幸恵、屋良佳緒利、後藤千枝、守屋成一(中央農業総合研究センター)	
15:59	虫18	露地ギクの殺虫剤かん注処理によるアブラムシ類に対する初期防除効果 ○村崎文里、桑原克也、高橋まさみ(群馬県農業技術センター)	糸山享 (明治大学農学部)
16:11	虫19	ニラのネダニに対する本ぽ温水処理の効果 ○西村浩志(栃木県農業試験場)	
16:23	閉会		

病害A会場（セミナー室） 一般講演12分（1鈴8分，2鈴10分，3鈴12分）

時間	番号	講演題目	座長
10:00	病A1	千葉県内のナシ萎縮病発病樹から得た分離菌における本病菌特異的プライマーを用いたPCR検定 ○金子洋平、中村仁1、塩田あづさ、鈴木健、鈴木達哉、幸由利香2、牛尾進吾（千葉県農林総合研究センター、1果樹研究所、2千葉県農林総合研究センター森林研究所）	大谷徹 （千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所）
10:12	病A2	枝挿入法によるナシ白紋羽病罹病樹の検出 ○小河原孝司、金田真人、伊藤瑞穂、富田恭範1、鹿島哲郎（茨城県農業総合センター園芸研究所、1茨城県病害虫防除所）	
10:24	病A3	長野県におけるスイカ果実軟腐病菌の感染経路について ○石山佳幸、山岸菜穂、藤永真史、吉沢栄治（長野県野菜花き試験場）	畔上耕児 （野菜茶業研究所）
10:36	病A4	ナス青枯病自然発生圃場における高接ぎ木苗の発病抑制効果 ○古澤安紀子、三木静恵1、池田健太郎、藍沢亨2、宮本雅章、瓦朋子3、中保一浩4（群馬県農業技術センター、1藤岡地区農業指導センター、2伊勢崎地区農業指導センター、3ベルグアース株式会社、4中央農業総合研究センター）	
10:48	病A5	群馬県のハクサイ黄化病発生圃場におけるキタネグサレセンチュウの確認と助長効果 ○池田健太郎、桑原克也、串田篤彦1、吉田重信2、對馬誠也2（群馬県農業技術センター、1北海道農業研究センター、2農業環境技術研究所）	水久保隆之 （中央農業総合研究センター）
11:00	病A6	レンコンモグリセンチュウによるレンコン黒皮線虫病の被害と密度との関係 ○高木素紀、齋藤望奈、豊田剛己1、鹿島哲郎（茨城県農業総合センター園芸研究所、1東京農工大学大学院）	
11:12	病A7	八丈島で発生した数種園芸作物の新病害～シヨウガすす葉枯病・白絹病、サンダーソニア灰色かび病、トウチ克蘭灰色かび病～ ○飯浜春奈、竹内純1、小野剛2、松本寛崇、志村美彩子、吉澤祐太郎、矢沢宏太1、鍵和田聡、堀江博道（法政大学生命科学部、1東京都島しょ農林水産総合センター、2東京都農林総合研究センター）	佐藤衛 （花き研究所）
11:24	病A8	畑地性カラー（<i>Zantedeschia rehmannii</i>）に発生したPythium sp. によるピシウム根腐病（新称） ○鐘ヶ江良彦、田中（三輪）千華1、海老原克介、深見理子2、植松清次、景山幸二3（千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所、1安房農業事務所、2山武農業事務所、3岐阜大学流域圏科学研究センター）	
11:36	昼食・休憩		
13:00	総 会		
13:35	特別講演 現場における病害虫診断の実態とそこからみえる課題、将来展望について 上遠野富士夫（法政大学生命科学部）		日本典秀 （中央農業総合研究センター）
14:25	休憩		
14:35	病A9	茨城県におけるイネ黄化萎縮病の発生状況 ○中村憲治、小山田一郎1、寺沼直美2、江幡千秋3、眞部徹4、中島久仁夫5、渡邊健、富田恭範（茨城県病害虫防除所、1県央農林事務所、2県北農林事務所、3鹿行農林事務所、4県南農林事務所、5行方地域農業改良普及センター）	山下亨 （長野県農業試験場）
14:47	病A10	ムギ類黒節病の発病基率と汚染粒率の関係 ○青木一美、寺門ゆかり、大越三登志（茨城県農業総合センター農業研究所）	
14:59	病A11	2種薬剤を用いたコムギ赤かび病の防除試験 ○酒井和彦、植竹恒夫（埼玉県農林総合研究センター）	
15:11	病A12	ネギ黒腐菌核病菌の生存菌核定量方法の検討 ○伊代住浩幸、鈴木幹彦、影山智津子（静岡県農林技術研究所）	外側正之 （静岡県農林技術研究所茶業研究センター）
15:23	病A13	全面マルチャ土壤消毒機によるネギ黒腐菌核病の防除 ○漆原寿彦、池田健太郎1、須田功一1、柿沼久美子2（群馬県農政部技術支援課、1群馬県農業技術センター、2東部農業事務所）	
15:35	病A14	有機農業実践圃場を中心に採取した土壌における有機物施用量とハウレンソウ萎凋病に対する発病抑止性との関係 ○赤神沙織、田村律子1、宇佐見俊行、雨宮良幹（千葉大学大学院園芸学研究科、1神奈川県農業技術センター）	
15:47	病A15	茨城県におけるレタス根腐病の発生状況 ○金田真人、伊藤瑞穂、小河原孝司、鹿島哲郎（茨城県農業総合センター園芸研究所）	漆原寿彦 （群馬県農政部技術支援課）
15:59	病A16	茨城県で発生したレタスパーティシリウム萎凋病の病徴の特徴 ○伊藤瑞穂、金田真人、小河原孝司、鹿島哲郎（茨城県農業総合センター園芸研究所）	
16:11	病A17	長野県におけるハクサイ黄化病助長要因とその耕種対策の検討 ○山岸菜穂、横沢志織、串田篤彦1、對馬誠也2、石山佳幸、藤永真史（長野県野菜花き試験場、1北海道農業研究センター、2農業環境技術研究所）	
16:23	閉会		

病害B会場（会議室） 一般講演12分（1鈴8分, 2鈴10分, 3鈴12分）

時間	番号	講演題目	座長
14:35	病B1	茨城県におけるダイズ紫斑病菌の薬剤感受性 ○大橋俊子、青木一美1、富田恭範（茨城県病害虫防除所、1茨城県農業総合センター農業研究所）	植草秀敏 (神奈川県農業技術センター)
14:47	病B2	埼玉県におけるキュウリ褐斑病の薬剤感受性 ○植竹恒夫、野田聡（埼玉県農林総合研究センター）	
14:59	病B3	栃木県のトマト及びイチゴに発生した灰色かび病の薬剤感受性 ○松本華苗、森島正二、福田充（栃木県農業環境指導センター）	
15:11	病B4	トマト葉かび病新レースに対するトマト市販品種の抵抗性 ○國友映理子、小塚玲子、牛尾進吾（千葉県農林総合研究センター）	植松清次 (千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所)
15:23	病B5	夏秋いちご品種‘なつおとめ’におけるイチゴ炭疽病の花器官及び果実での発病と予防的薬剤の効果 ○小林誠（栃木県農業試験場）	
15:35	病B6	ジャガイモ有機栽培の新技術と栽培体系の確立 仲川晃生、○井上康宏、青木一美1、草野謙三1、横須賀知之1、渡邊健1、2（中央農業総合研究センター、1茨城県農業総合センター農業研究所、2現茨城県病害虫防除所）	
15:47	病B7	タマネギセル苗をトラップとしたアイリスイエロースポットウイルス早期発見によるリスク評価法 ○米本謙悟、松崎正典、中野昭雄、石川浩一1、渡邊丈夫2（徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所、1近畿中国四国農業研究センター、2香川県農業試験場）	津田新哉 (中央農業総合研究センター)
15:59	病B8	ピーマン植物体内におけるキク茎えそウイルスとトマト黄化えそウイルスの分布 ○沼田慎一、西宮智美（茨城県農業総合センター生物工学研究所）	
16:11		閉会	